

は ま べ

浜辺の歌



1 「浜辺の歌」について、次の問いに答えましょう。

(1) 「浜辺の歌」の歌詞の意味を調べてみましょう。

- ① あした…………… ()
- ② さまよえば…………… ()
- ③ しのぼるる…………… ()
- ④ ゆうべ…………… ()
- ⑤ もとおれば…………… ()

1 番と 2 番の**対比**や、「風の音：雲のさま」「寄する波：かえす波」のような**対句**の表現に着目し、情景を思い浮かべながら詩を読んでみましょう。

※**対句**：文の形や言葉が対照となる関係になること。

(2) この曲の作詞者と作曲者を答えましょう。

作詞者…………… () 作曲者…………… ()

～日本の歌，心の歌をうたいついでいこう～

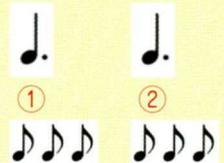
A

♩ = 108 *mp* *p*
あ したは まべ を さま よ え ば む
か し の こ の と ぞ し る る る か
p *mf*
ぜ の お と よ く も の さ ま よ よ
p
す る な み も か い の い ろ も

B

2 この曲は『8分の6拍子』で作曲されていますが、この曲にどのような効果をもたらしているのでしょうか。あなたの考えを書いてみましょう。

$\frac{6}{8}$ 拍子とは？



大きな2拍子の流れを感じ取りながら歌って考えましょう。

3 この曲は、a a' b a' のように作曲されています。

このように曲全体が、**A B** のような形式を 形式 といいます。

日本人は、昔から自然の様子を心で感じ取り、文学や美術、そして音楽などの芸術作品として、様々なかたちで表現してきました。その繊細な感受性、そして巧みな表現の技法は、現代に生きる私たちが大切に受け継いでいかなければならないものだと思います。

音楽の世界では、春夏秋冬の季節によっていろいろな表情を見せる自然の風景、そして、そこに暮らす人々の生活の様子や思いが、多くの詩人や作曲家によって「日本歌曲」として表現されてきました。

ふるさとの風景や季節の風を感じる数々の日本歌曲に耳を澄ませてみませんか。